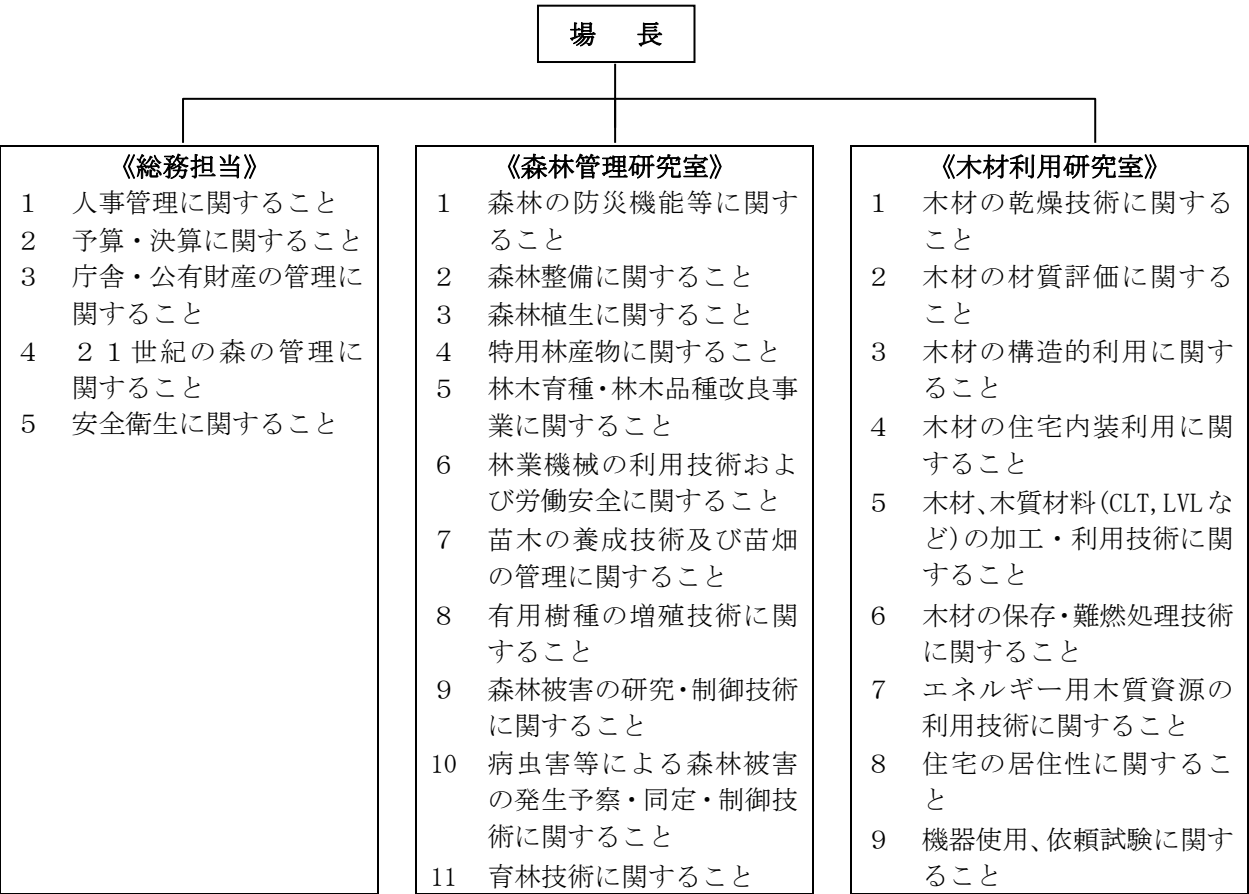


I 沿革

昭和30年9月	鳥取市立川町6丁目（旧練兵場跡地）に鳥取県林業試験場（庶務係・施業部・改良部の3部制）として開場する（全国で21番目の公立林業試験場）。
昭和34年4月	施業部を経営部に、改良部を造林部に改称する。
昭和37年9月	部制を科制に改称し、1係2科制となる。
昭和45年4月	係制を課制に改称し、総務課、経営科、造林科の1課2科制となる。
昭和50年4月	林木品種改良事業を造林課より当場に移管する。
昭和51年4月	育種科を新設し、総務課、経営科、造林科、育種科の1課3科制となる。
昭和55年4月	保護科を新設し、総務課、経営科、造林科、育種科、保護科の1課4科制となる。
昭和55年6月	林業試験場を八頭郡河原町稲常（現 鳥取市河原町稲常）へ新築移転する。
平成7年4月	科制を室制に改称し、総務課、森林造成研究室、林業生産研究室、森林管理研究室、木材加工研究室の1課4室制となる。
平成7年10月	木材加工研究棟を新設。
平成17年4月	森林管理研究室、木材利用研究室の2研究室制となる。
平成18年4月	農林水産部内に農林総合技術研究院が新設され、総務課が総務普及課となる。
平成20年4月	農林総合技術研究院が農林総合研究所となり、林業試験場は農林総合研究所林業試験場となる。併せて総務普及課が農林総合研究所企画総務部に統合される。
平成26年4月	農林総合研究所体制の再編。各試験場は本庁所管課の地方機関とされ、林業試験場は農林水産部林政企画課の傘下となる。
平成29年3月	「とっとり林業技術訓練センター『愛称：Gut Holz』」新設。
平成30年3月	「木材環境研究棟」新設。
平成31年4月	とっとり林業技術訓練センター、木材技術工芸実習館、森林学習展示館の管理が指定管理者に移行。
令和4年3月	全天候型実習施設設置。

II 機構（令和7年4月1日現在）

1 組織・主な業務



2 職 員 数

(1) 職員配置状況

(令和7年4月1日現在)

区分 課・室名	事務 職員	技術 職員	現業 職員	計	会計年度 任用職員	備考
場 長		1		1		
総 務 担 当	1			1	2	
森 林 管 理 研 究 室		6		6	10	
木 材 利 用 研 究 室		5		5	2	
計	1	12		13	14	

(2) 職員一覧表

(令和7年4月1日現在)

課 ・ 室 名	職 名	氏 名
	場 長	上 月 光 則
総務担当	課 長 補 佐	柿 本 浩 和
森林管理研究室	室 長	西 信 介
	上 席 研 究 員	矢 部 浩
	主 任 研 究 員	柴 田 寛
	主 任 研 究 員	赤 井 広 野
	研 究 員	南 方 悠 生
	研 究 員	園 田 茉 央